京都の伝統や文化

京都ギフトショー

「衣」「食」「住」に焦点あて

第3回京都インターナショナル・ギフト・ショー2022は、3月9、10日に京都市左京区のみやこめっせ（京都市勧業館）で開催、多数の来場者で賑わった。

今回は322社が出展、京都の伝統や文化を背景とした多彩な商材をアピールした。

会場では、バッグ、服飾雑貨、アクセサリーなどを集めた「衣」、食品や地場特産品などを集めた「食」、インテリア雑貨や家具などを集めた「住」の各ゾーンで展開したほか、各種の法人ギフトもPRした。

また、京都の伝統産業から生まれ、伝承されてきた職人の技をモダンにアレンジした商品、デザイン雑貨、インテリア雑貨、服飾雑貨、食品ギフト、お土産品、OEMやODM対応商品など、多種多様な商品が集結して会場を飾った。

さらに伝統に培われた技から生まれる素材、職人や作家の熟練の技から生まれる商品や新しい技術など、伝統と経験から生みだされた「匠」の技をヒューチャーした特別企画「WAZA博」、京都の伝統や文化を背景とした技術や素材、ノウハウなどの知恵を生かした商品を提案する展示商談会「京都知恵産業フェア」、おうち時間を豊かにするデザイン雑貨や食品を集めた「雑貨かわいい食マルシェ」、お土産好適品を集めた「おみやげコンテスト」など、多彩な企画で盛り上げた。

ギフトショーには、文紙MESSSE協議会も出展し、8月2、3日に大阪市中央区のマイドームおおさかで開催する「文紙MESSSE2022」への出展勧誘や来場を呼びかけるチラシを配布してPRした。

なお、3月11日には「オープンファクトリーデイ」を実施。出展企業の工房やスタジオ、工場、ショールームなどをバイヤーに公開する企画も好評を博した。

文紙MESSSEをPRする協議会のブース

保護実践部門大賞に

コクヨ 結の森プロジェクト

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、同社のCSR活動「結の森（ゆいのもり）プロジェクト」が、日本自然保護大賞2022「保護実践部門」の大賞を受賞した。なお、同賞はプロジェクトのパートナーである四万十町森林組合との共同での受賞となる。

「日本自然保護大賞」とは、公益財団法人日本自然保護協会が主催する表彰事業で、地域性、継続性、専門性、先進性、協働の観点から、生物・生態系の研究、自然保護の実践、環境教育の推進などに大きく貢献する取り組みに対し、その成果と尽力を表彰するものであり2014年度に創設された。

結の森プロジェクトについては、「文具会社と地元森林組合の共同により、間伐材を用いたブランド文具の開発・販売にとどまらず、生物多様性保全と地球温暖化防止対策、地元高校生との植生や河川の水質に関する調査、活動内容の効果的な情報発信など、幅広い活動を展開している。

2006年に約100haのモデル林から始めた森林管理は5425haまで拡大し、すべてFSC森林管理認証を取得しているほか、通販子会社にて購入者のポイントをプロジェクトに寄付するしくみも設け、毎年100件以上の申込みを受けるなど、森林保全と地域経済の振興を両立させたことが高く評価された。

同プロジェクトは、森林保全活動による生態系保護のみならずCO2吸収による脱炭素社会にも貢献している。

また、結の森で間伐された木材の有効活用、全国の地域材を使いたいというニーズにも応えられるように窓口カウンター（製品名＝プロトコルカウンター）を開発。天板のエッジに杖倒れ防止や車椅子利用者用グリップなどを採用したユニバーサルデザインにも配慮した製品がある。

受賞式の模様

若い女性で賑わう

阪急うめだ「文具の博覧会」を開催

阪急うめだ本店は、3月2日～7日、9階催事場で、文房具が集まるイベント「阪急文具の博覧会2022」を過去最大規模で開催、若い女性を中心に多数が来場、レジには長蛇の列ができた。

今回は「ハッピーメッセージ」をテーマに、長引くコロナ禍の中、大切な人に気軽に会えない時だからこそ、自分の気持ちを伝える方法として、手紙より手軽な「メッセージで想いを伝える」ことを提案。クリエーターが手がけたメッセージカードやバラエティーに富んだカードに自分らしさと楽しさをプラスする「書く楽しみ」では、①素材から自由に作ろう②伝統と今様が楽しい日本の手紙用品③古い時代の紙やレトロデザイン④手触りも記憶に残る活版印刷⑤個性豊かなクリエイターデザイン⑥文字の色に想いを込めて⑦外国のペーパーの7つの切り口で、ハッピーメッセージを書く楽しみを提案。「自分らしくデコする楽しみ」では、スタンプやマスキングテープでデコレーションを楽しんで贈るハッピーメッセージをそれぞれ提案した。

展示ブースのほか、ワークショップコーナーも設けて、笑い文字や美文字のワークショップ、絵てがみ教室、カリグラフィー体験、万年筆ビュッフェなど、多彩なプログラムを用意して、好評を博した。

若い女性を中心に多数の来場者で賑わう会場

HAGURUMA

京都で初の「手帳の市」

4月9～10日 みやこめっせで開催

一般社団法人日本手帳クリエイター協会（滋賀県守山市）は、4月9、10日に京都・岡崎のみやこめっせで、初のリアルイベント「手帳の市 2022年春」を開催する。

チケットは3月3日に発売開始、9日に開催の手帳セミナー付きナファーストパス付きのプレミアムチケット（税込み3000円）は発売間もなく完売している。

ブランドや作家、メーカーなど30ブースが出展し、手帳や手帳周りのアイテムを紹介する。業界からは石丸文行堂、TAG STATIONERY、ナガサワ文具センターが出展する。

「手帳の市」は、同協会の理念である「人材育成支援」「場づくり」「文化保護継承」のもとに開催。手帳を通して「場」を作ることで、手帳ユーザーが集まり、手帳や周辺の文房具などの使い方を共有しながら、手帳ライフを楽しみ、深め、充実したものになることをサポートしていくとし、「イベントを楽しむ姿を通して、多くの人に手帳への興味関心を高められるよう運営をしていきたい」としている。

開催時間は9日が正午から午後5時。10日が午前10時～午後4時。

一般チケットは750円（税込）。チケットは1日限り有効。小学生未満は無料。

会場は、「お気に入りを見つけて書く楽しみ」と、「自分らしくデコする楽しみ」の2つのカテゴリーに分けて展開。業界関連では、パイロットコーポレーション、KITERA（紀寺商事）、ナガサワ文具センター、タグステーショナリー（タケダ事務機）、セーラー万年筆、エヌビー社、日本ホールマークなどが出展するデコレーショングッズ、カスタマイズできる手紙用品など、書き手と受け取り手の双方がハッピーな気持ちになれる、約130ブランドを揃えた。

「手帳の市」のビジュアル

高機能スタンド モバスタ

○…クツワ…○ マクアケにチャレンジ

クツワ株式会社（寺浦浩之社長、東大阪市）は、応援購入サービス「Makuake（マクアケ）」で、7段階の角度に調整できるコンパクトな高機能スタンド「MOBASTA（モバスタ）」を3月10日に販売受付を開始した。

「モバスタ」は、置くものによってサイズの可変が可能で、作業での楽な姿勢や見やすい角度に細かく調整できる高機能スタンド。「自分の姿勢とスタンドの角度が合わない」「収納や持ち運びにかさばる」などのユーザーの不満を解消した。

本体は畳めば、薄さわずか17ミリの超薄型、重さ172グラムの超軽量。スマホやタブレット、本や書類のスタンドとして、室内だけでなく、車中やアウトドアライフなど様々なシーンで便利に使える。

同社では、マクアケの活用は今回で第7回目となるが、目標金額に対する応援総額は、バッグ収納の不満を解消するボード型バッグインバッグ「Tabula（タブラ）」が6921%、「同ワイド」が3521%、インテリアに合う高機能コンテナ「BULDA（ビルダ）」が7869%など、いずれも驚異的な数字を達成している。

見やすい角度に調節できる

流通向けにニュース発信

また、同社では販売促進の一環として、問屋や販売店などに向けて、メールによるDM配信を3月16日より開始した。

1回目の配信では、文房具屋さん大賞で「マ磁ケシ」が機能賞、「タツール筆入れ」が筆箱賞をそれぞれ受賞したことや、雑誌やテレビでの各メディアでの紹介状況などを紹介している。

DMは、隔週での配信を予定しており、製品情報はじめキャンペーン情報などを配信。また、同社ホームページともリンクさせている。

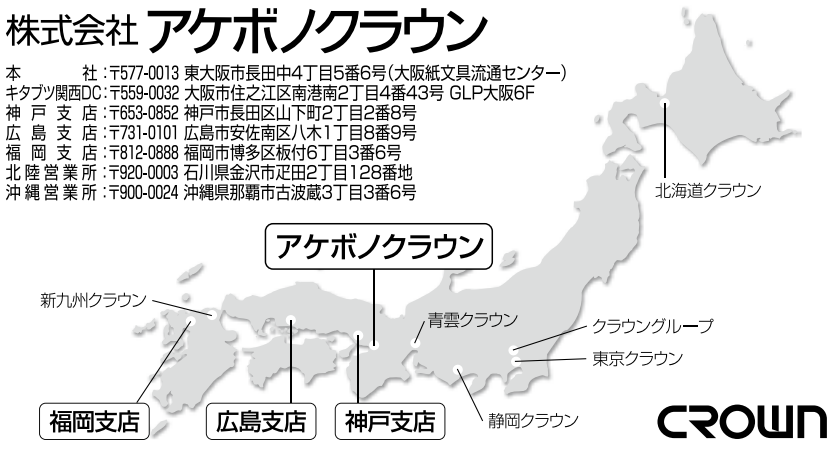
4月21・22日 産業創造館で紙加工技術展

大阪の中小企業支援機関、大阪産業創造館は、4月21日～22日、大阪・本町の産業創造館（3階、4階）で、「紙」に特化した見本市「紙加工技術展2022」を完全事前申し込み制で開催する。

見本市では、幅広いニーズに応える特色ある紙素材、加工技術、ユニークな製品を一堂に集めて紹介する。

出展企業は50社（2月18日現在）。コロナ感染予防対策で、初日は2部、2日目は3部の全5部制で実施する。

低コストで業務効率アップ！
卸店向けクラウド型 販売在庫システム → 業務スピードアップ 保守点検軽減
文具業界の標準VAN対応！
クラウド環境で安定運用を支援
携帯学習ツール m-learningシステム → 社員教育 業務理解度テスト
スマートフォン・携帯電話を使って
繰り返し学習できる！
株式会社シー・エー・エヌシステム
〒540-0029 大阪市中央区本町橋6-21 本町橋ビル903号 TEL 06-6946-9000

株式会社 アケボノクラウン
本社：〒577-0013 東大阪市長田中4丁目5番6号（大阪紙文具流通センター）
キタブツ関西DC：〒559-0032 大阪市住之江区南港南2丁目4番43号 GLP大阪6F
神戸支店：〒653-0852 神戸市長田区山下町2丁目2番8号
広島支店：〒731-0101 広島市安佐南区八木1丁目8番9号
福岡支店：〒812-0888 福岡市博多区板付6丁目3番6号
北陸営業所：〒920-0003 石川県金沢市疋田2丁目128番地
沖縄営業所：〒900-0024 沖縄県那覇市古波蔵3丁目3番6号


文具・事務用品・雑貨卸商社
紀寺商事株式会社
http://www.kitera-shouji.co.jp
■本社
〒590-0025 堺市堺区向陵東町1丁8－9
TEL（072）259－1006代表
■東大阪支店
〒577-0013 東大阪市長田中4－6－33
TEL（06）6747－0098代表
■中もず営業所
〒591-8022 堺市北区金岡町3003-16-A号
TEL（072）255－6544代表
■アンテナショップ
ステーショナリーAURA（アウラ）
〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-16-1
新大阪駅2階「アルデ新大阪」内
TEL（06）6303－8517
■関連会社
株式会社パトス（法人向け事務用品全般の納品）
AKG株式会社（3PL物流・人材派遣）